



吹田市における 感染症対策ネットワーク活動を基盤 とした高齢者施設への感染対策

吹田市保健所

保健医療総務室

I 吹田市の概要

位置

大阪府北部、面積 36.09km²

人口

総人口 385,999人 (令和8年(2026年)3月末時点)

令和2年(2020年)4月

中核市となり吹田市保健所開設

市内医療機関

○病院数 15病院

うち、感染対策向上加算取得状況

加算1病院 7病院

加算2病院 2病院

加算3病院 5病院

(令和7年6月時点)

ICNは計8名在籍



2 感染対策ネットワークについて

【保健所内の役割分担】

事務処理・関係機関調整を医療安全部門が、感染症対応に関する専門知識がある感染症対策部門が技術支援を行い、両者で連携して実施。

(1) 吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議

ア 発足の経緯

平成22年、国内某大学病院での多剤耐性アシネトバクターの院内感染事案を受けて、阪大病院感染制御部から、地域の病院間の相互支援とネットワーク構築について保健所に提案があり、平成23年2月「院内感染対策連絡会議」を設置。

その後、構成を管内すべての病院に拡大するとともに大阪健康安全基盤研究所も構成員に加え、保健所が連絡会議の事務局を担っている。

イ 目的

医療機関の相互支援とネットワークに基づく取組を推進することにより、院内感染等の未然防止や早期解決を目指し、ひいては地域の医療安全と医療レベルの向上に資すること。

ウ 構成員

管内15病院（インфекションコントロールドクター（ICD）・感染管理認定看護師（ICN）等、感染管理担当者）、大阪健康安全基盤研究所、吹田市保健所

エ 内容

【連絡会議での議題】

- ・ 管内医療機関の院内感染対策の発生状況や院内感染発生時の感染対策に関する最新の知見等についての情報共有
- ・ 高齢者施設等への感染対策支援のあり方や取組報告 等

【具体的な取組】

- ・ 院内感染対策に係る相談、支援チームの派遣
- ・ 高齢者施設等への感染対策リーダー育成研修
- ・ 高齢者施設内ラウンド 等

才 会議の変遷

平成22年度
(2010年度)

管内のICD・ICNがいる病院長に呼び掛け、5病院で連絡会議を開始

平成24年度
(2012年度)

全ての医療機関の院内感染対策の向上のために、感染防止対策加算取得の有無にかかわらず、院内感染対策従事者の教育の機会を設け、コンサルテーションを実施する組織として位置づけ、構成機関を管内すべての14病院に拡大

平成26年度
(2014年度)

新規開業病院を追加し構成機関15病院に拡大

令和2年度
(2020年度)

吹田市が中核市に移行し「吹田市保健所」になる

令和4年度
(2022年度)

診療報酬改定をふまえ、吹田市保健所が開催する本連絡会議と加算取得病院及び吹田市医師会が主催するカンファレンスが効率的に開催できるように、連絡会議と同日に加算1主催のカンファを行い、別日で年2回開催される加算1・医師会主催カンファに保健所も参加

カ 吹田市の感染対策に関する会議・地域支援全体像（令和7年度～）

1 医療機関の院内感染対策支援

(1) 感染対策に係るカンファレンス(年4回)

ア 吹田市感染対策合同 カンファレンス(年2回)

主催:加算1病院、吹田市保健所

内容:情報共有、協議等

- ・院内感染対策・薬剤耐性菌等
- ・新興感染症発生に関する訓練

構成員:管内加算1～3病院、管内加算外病院、
管外加算連携病院、吹田市医師会、
大阪健康安全基盤研究所、吹田市保健所

イ 外来感染対策向上加算 カンファレンス(年2回)

主催:加算1病院、吹田市医師会

内容:情報共有、意見交換、最新知見共有

- ・感染症患者の発生状況
- ・薬剤耐性菌等の分離状況
- ・院内感染対策の実施状況
- ・抗菌薬の使用状況

構成員:管内加算1～3病院、吹田市医師会、
外来感染対策向上加算取得医療機関、
管外加算連携病院、吹田市保健所

(2) 支援チームの派遣

調整:吹田市保健所

内容:クラスター発生時等に管内
医療機関に対して支援チーム
を派遣

派遣者:加算1病院、吹田市保健
所

派遣先:管内医療機関

2 施設支援

(1) 高齢者施設等 感染対策支援検討会*

主催:保健所・加算1病院

内容:情報共有、協議等

- ・感染対策の取組検討
- ・施設対象研修企画

構成員:加算1病院ICN、
核となる施設、
市関係部署、保健所



(2) 施設等への感染対策向上の取組*

ア 感染対策リーダー 育成研修

目的:施設の感染対策
向上

企画:加算1病院
核となる施設
保健所

対象:管内福祉施設等

イ 施設内ラウンド

調整:保健所

内容:ICNが施設内を回
り感染対策につい
てミニ講座・助言・
実習等を行う

派遣者:加算1病院、
保健所

派遣先:管内福祉施設
等

(3) 支援チームの派遣

調整:保健所

内容:クラスター発生時等に
施設等への支援チーム派
遣

派遣者:加算1病院、
保健所

派遣先:管内福祉施設等

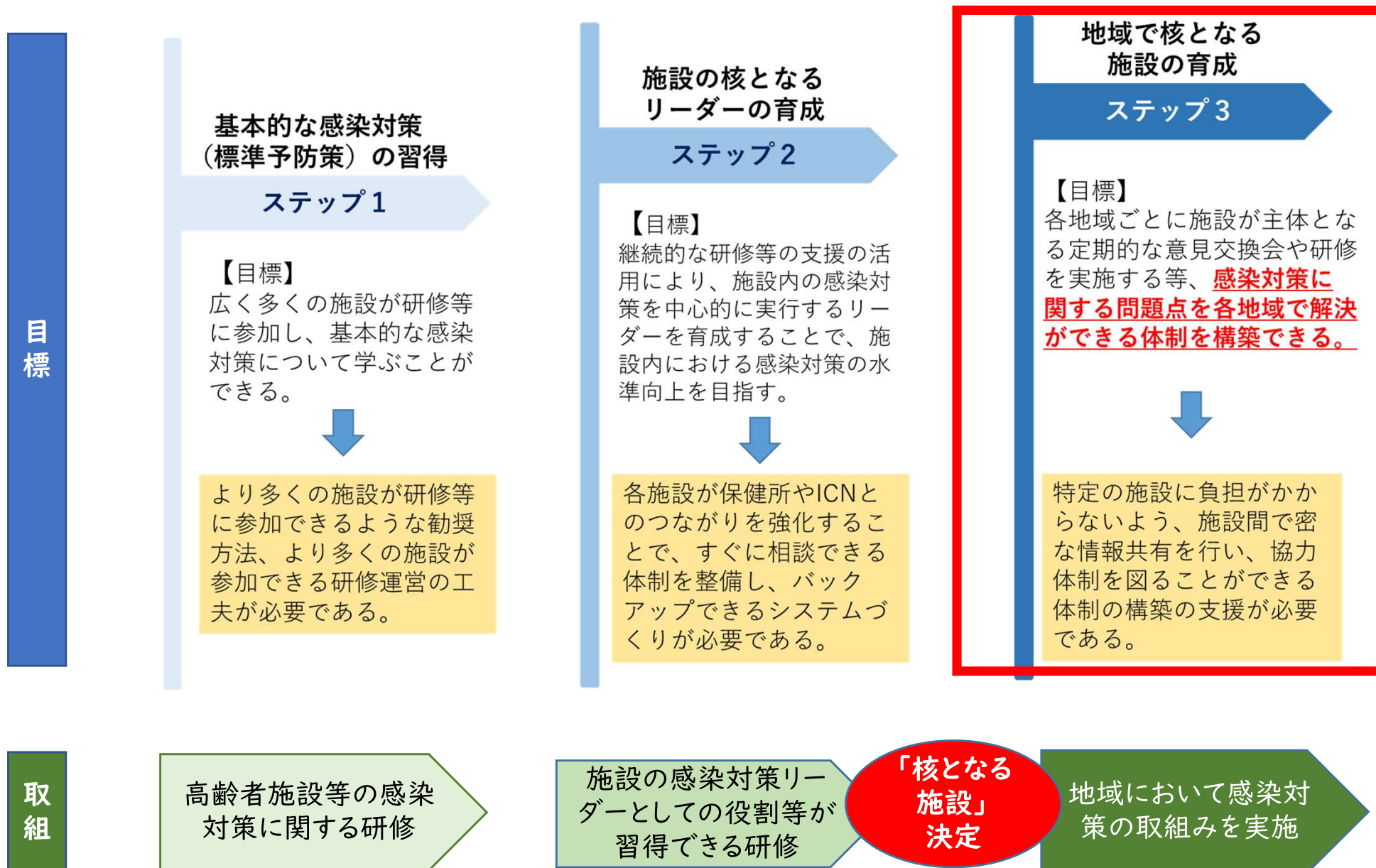
(4) 庁内調整

調整:保健所

内容:施設を所管
する市関係部
署との連携、
相談対応等

3 高齢者施設等への感染対策支援について

これまでの高齢者施設等感染対策支援の目標と取組



今後の高齢者施設等感染対策支援の目標と核となる施設を中心とした取組

地域の高齢者施設	支援	核となる施設	支援	ICN・保健所等
<p>【高齢者施設の目標：自施設の感染対策の向上】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定期的に施設内で研修や訓練を実施し、職員が感染対策の知識や技術を獲得できる体制が整備されている 2. 平時からの適切な感染対策や、感染者発生時にも適切な初動対応ができる (PPE、ゾーニング、濃厚接触者特定等) 3. 施設内で感染対策について指導・助言できる体制が整備されている 4. 感染対策等について、他施設との情報交換や共有ができています <p>【地域全体の目標】 核となる施設を中心とした施設間の連携ネットワークができています</p>		<p>【核となる施設の役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自施設の感染対策の維持・向上に努める 2. ICNや保健所等と相談しながら、他施設の相談に対応する 3. ICNや保健所等と協力しながら、核となる施設が主体となり、他施設を対象とした研修や訓練等が実施する 4. ICNや保健所等とともに、地域の高齢者施設等との感染対策支援に関するネットワークの構築に努める 		<p>【ICN・保健所等の支援内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者施設等への施設内ラウンド 2. 感染者発生時の支援チームの派遣 3. 感染対策リーダー育成研修の実施 4. 核となる施設が実施する研修や訓練等への支援（企画の相談支援、講師としての出務等） 5. 核となる施設からの相談対応 6. 研修等実施時に研修物品の貸し出し 7. 核となる施設と結びついていない施設への参加勧奨 8. 高齢者施設等感染対策支援検討会の実施（地域の感染対策支援について評価、検討等）

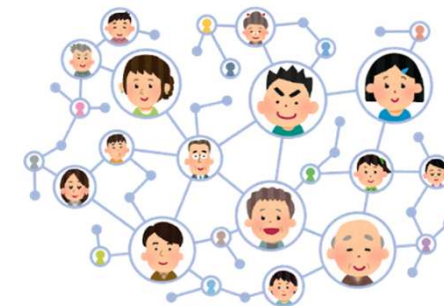
【核となる施設の選定】

令和4年度に感染対策の実態を把握するために施設ヒアリングを実施、特に感染対策に意識の高い施設を把握したうえで、施設長会議で立候補してもらい選定。

令和6年(2024)10月 吹田市保健所作成

4 施設支援の具体的な内容

平成27年より高齢者施設等がICNに相談協力を受けるシステムを構築し、高齢者施設等への研修を開始。研修を継続することで地域の感染対策で中心的な役割を担える施設ができてきたため、令和6年度に核となる施設を中心とした感染対策に関する取組を見直した。



(1) 高齢者施設等感染対策支援検討会

ア 目的

高齢者施設等における感染対策や集団感染発生時の対応力向上と、管内高齢者施設等の中心的役割を担う施設(核となる施設)を中心とした施設支援と施設間連携によるネットワークの構築を目的に設置。

イ 構成員

- ・感染対策向上加算I取得病院ICN
- ・市内特別養護老人ホーム代表(核となる施設)
- ・保健所
- ・市関係部署



ウ 検討内容

- ・高齢者施設等への感染対策支援のあり方
- ・核となる施設の役割
- ・高齢者施設等感染対策リーダー育成研修の内容
- ・施設内ラウンドの実施方法 等

エ 開催回数

年2回程度

「当事者である福祉施設と一緒に作り上げること」
「福祉施設が主体的に実施すること」

を大切に、ICNとともに支援

(2) 高齢者施設等感染対策リーダー育成研修

平成30年からICNとともに実施しており、令和5年度から、福祉施設も企画・運営に参加。

ア 目的

高齢者施設等を対象に、施設における感染対策の向上、施設内で感染対策を推進できる人材の育成を目的として、研修を実施

イ 対象

- ・市内の特別養護老人ホーム
 - ・介護老人保健施設
 - ・障がい者入所施設
- 上記の施設管理者、感染対策の中心となる
看護師又は介護士等

ウ 内容

- ・施設における感染対策の取組報告
 - ・ICNの講義（感染対策マネジメント、施設でできる感染対策研修会、継続的な感染対策のあり方等）
 - ・グループワーク 困っていること、聞きたいこと等
- 講師は管内病院のICN等

エ 開催回数

年2回程度

吹田の感染対策ネットワーク
特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・障がい者入所施設対象

令和7年度
**高齢者施設等感染対策
リーダー育成研修**

日時: **10/2(木) 14時~16時**
(受付開始13:30)

要申込
9月28日
まで

場所: 大阪府済生会吹田病院
東館2階 センターホール
(吹田市川園町1-2) ※できる限り公共交通機関をご利用下さい。

研修内容

【講義】
標準予防策及び感染経路別対策について
講師: 感染管理認定看護師

【実技】
・感染対策に配慮したケアの実践
・おむつ交換とバルーン尿破棄、嘔吐物の処理
・ローニングやPPE着脱の実践
※当日は動きやすい服装(スカート不可)、靴でお越しください。

申込方法
QRコードもしくはクリックから
電子申込システムにてお申し込みください

吹田市内病院の感染管理認定看護師等が分かりやすく解説しながら演習をします。
貴重な機会ですので是非ご参加ください。
今回の研修を通じて、日常のケアをより感染対策に配慮したケアにしていきたいと思います。

問い合わせ先: 吹田市健康医療部 保健医療総務室 TEL 06-6339-2225


(3) 施設内ラウンド

《 施設内ラウンドとは 》



高齢者施設等からの依頼により、管内加算I病院ICNが施設に出向き、施設内ラウンドや講義、実習等を行うことによって、各施設の実情に応じた助言を行う(施設内で感染者が発生していない時に実施)



《ラウンドを利用した施設の声》




自施設の現状に沿ったアドバイスがもらえ、その場でたくさん質問もでき改善につながった!

ICNとの関係ができ、気軽に相談できる体制があることが心強いです。

正しい感染対策が学べた。また、負担が少なく継続しやすい工夫もわかりよかった。



よくできているところは
継続を♪



改善すべき点は、
施設に合った
改善策をご提案



(4) 支援チームの派遣

医療機関、高齢者施設等のクラスターに対しては、管内医療機関の感染対策の専門家（ICD・ICN）で構成する支援チームを派遣し、感染対策等についての指導・助言を実施

	支援チーム
対応時期	【感染者発生時】 施設内で感染者が発生し感染拡大が危惧される時
概要	施設内での感染拡大が危惧される時において、市内病院の感染対策の専門家（医師、ICN等）で構成される支援チームが施設に出向き、施設内での感染拡大防止のための助言・支援を行う
目的	施設内の感染拡大防止
対象	集団感染が疑われる事案等が発生した医療機関、福祉施設
支援者	市内の感染対策向上加算I病院の専門家（医師、ICN等）、保健所など

5 実際の活動にあたり、大切にしていること

院内感染対策連絡会議

- 管内全病院の院内感染対策向上を目指し、感染対策向上加算取得の有無に関わらず、全病院を対象として開催。
- 大阪健康安全基盤研究所だけでなく、案件に応じて必要な関係部署、関係機関を招集。
- クラスターが発生した病院に支援チームを派遣した場合は、会議において受援側、支援側双方から報告を行い、全病院への情報共有を実施。

高齢者施設支援

- 研修等の企画から施設職員の参加を促し、当事者目線の研修を行うとともに施設内の感染対策向上につなげる。また、地域の核となる施設を育成できるよう、ICNと共に支援。地域ごとに施設間の横のつながりもできるように働きかけている。
- 市福祉部へ働きかけ、感染対策向上に向けた施設支援について、情報共有や検討を実施。市福祉部が持つネットワークを活用し、管内高齢者施設等へ研修案内を行う。

平時からの取組（ネットワーク）が次の感染症危機への備え

